

# ひまわり



第20回 福祉の絵手紙 理事長賞受賞作品 橋本真由子 様

175号

令和6年5月10日

- 2 田原福祉グローバル専門学校卒業式・入学式
- 3 施設長就任あいさつ
- 4 ▶ 5 令和6年度 新入職員紹介
- 6 令和6年度 新入職員歓迎式典及び新入職員研修会
- 7 特集◎お花見
- 8 連載vol.66◎【記録に残したい記憶】 ～貴重な体験を語り継ぐ～
- 9 ▶ 12 各施設トピックス
- 13 ▶ 14 福寿園ニュース/たぶトピ
- 15 家族会だより
- 16 連載◎外国人介護士紹介インタビュー  
連載◎施設長・管理者のリラコラム  
連載◎4コマまんが フクちゃん



# 田原福祉グローバル専門学校 令和5年度卒業式 令和6年度入学式



令和5年度卒業式

うらかな春の陽光がさした3月15日に、介護福祉学科と日本語学科の卒業式が行われました。介護福祉学科は24名、日本語学科は1年コース7名、6か月コース8名、そして第1期生となる1年6か月コース18名を無事に送り出すことができました。卒業生を代表して介護福祉学科の前田幸成さんが母親に感謝の気持ちを述べつつ、「利用者様を第一に考えられる介護福祉



卒業パーティ

士になります。」と誓い、日本語学科からイグスティ アユミラユキ サトリアワンさんは「介護職の一員として活躍する未来のため、笑顔で頑張ります。」と述べました。さらに今回卒業した1年コース7名、6か月コース8名は全員、介護福祉学科へ進学することが決まりました。

式典後はCafé2910にて卒業パーティを開催し、美味しいご飯を食べながらこれまでの学校生活を一緒に振り返りました。



令和6年度介護福祉学科入学式

また、桜の花が咲き始めた4月3日、介護福祉学科に34名、日本語学科に8名の学生が入学し、新たな門出を迎えました。新入生を代表し、介護福祉学科の森下銀さんより「介護福祉士を目指し、互いに学びあ

いながら努力します。」日本語学科からはプットゥプトルリヤニさんより「私たちの夢を現実にする1歩が始まりました。介護福祉学科進学を目指し、諦めずに頑張りたいです。」とそれぞれ力強い誓いの言葉を述べました。



令和6年度日本語学科入学式

今年度も日本、フィリピン、ベトナム、インドネシア、ミャンマーと国際色豊かな学生たちが集う専門学校となりました。これから多くの技術や知識を仲間と学びながら介護のプロを目指せるよう、職員一同サポートして参ります。



# 就任あいさつ



特別養護老人ホーム  
豊田福寿園  
施設長 柘植 健史

この度、特別養護老人ホーム豊田福寿園の施設長に就任しました柘植健史と申します。

豊田福寿園は昭和63年3月に豊田市初の特養として開設し、今年で37年目を迎えます。この間、9代の施設長が移り変わりました。その歴史の深さと重みを受け継ぎ、これまで築き上げてきた地域との絆を更なる未来へと繋げていけるように誠心誠意邁進していく所存です。また、ここで生活する皆さまの健やかな暮らしをチーム一丸となって支え、職員一人ひとりを大切にして、働きやすい職場環境を作っていくことを常に心に止めて笑顔溢れる施設づくりに取り組んでまいります。謙虚な気持ちをお忘れずに思いやりのある人物像を目指して参りたいと思っておりますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ケアハウス みなみ  
施設長 浅野富美子

この度、ケアハウスみなみの施設長に就任いたしました浅野富美子と申します。ケアハウスは、自立された高齢者の方が住んでおられる施設です。第二の人生の生活の場としてケアハウスマなみを選んでくださった入居者の方々が、いつまでも輝き充実した生活を送って頂けるよう、また、人と人との交流を行い、地域社会の一員として地域の方と触れ合いながら、人生100年と言われる昨今、ケアハウスでの生活を素敵なシニアライフを送って頂きたいと思えます。私も、同じシニアとして一緒に過ごして、人生の1ページを「福寿園に来てよかった」と思っていただけのような職務を全うしていく所存でございます。



ケアハウス きぬうら  
施設長 浦田弘美

4月1日付でケアハウスきぬうらの施設長に就任いたしました浦田弘美と申します。ケアハウスきぬうらは平成10年4月に開設し、今年で26年を迎える歴史と伝統のある施設ですのでその重責に身の引き締まる思いでいっぱいです。入居者の「ありがとう。がんばってね。」の声と笑顔に励まされ奮闘している毎日です。入居者はもちろんのこと、ご家族や職員、ケアハウスきぬうらにかかわるすべての皆様が「ここにきて良かった」と今以上に思ってもらえる施設を皆で一緒につくっていただけるようこれまで以上に努力を重ね、貢献できるよう精進して参りますので、ご指導ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月1日付で3人の施設長の人事異動がありましたのでご紹介いたします。



令和6年度

4月1日付

# 新入職員紹介

今年も各施設に新入職員が配属されました。どうぞよろしくお祈いします。

東三河  
地区



田原福寿園(本館)

左より 鈴木陽春、渡邊由加里、松本典子、影山智里、鎌倉知弘



田原福祉グローバル専門学校

小杉綾華



花の里

カトレヤ



田原ゆの里

赤星佑奈



田原福寿園(南館)

左より ライカ、笹谷七海、長坂歩、川岸優菜



渥美福寿園

左より アナリン、小川永遠、奥村真子



みなみ福寿園

上段左より 浅井隆臣、稲葉祐月、岩永萌愛、三村真理  
下段左より 増田しずく、野口侑佳、南川花梨、中谷心優



豊田  
地区



豊田福寿園

左より 月原啓志、岩附未来





くすのきの里

上段左より 竹下大也、安藤琴音、上川里香、三上良子  
下段左より 岩瀬雅和、上中里紗、成田葵、安江海音



武豊福寿園

左より 菌部真綾希、蟹谷百合奈、石原百華、中村心奏



ちた福寿園

左より 井野葵、柿本みくに、谷川秀平



東海福寿園

上段左より 小島翼、青木佳奈、工藤未来、道見純  
下段左より 茶屋友美、マリー、伊藤早苗



木田の里

上段左より 宮司英里佳、簾谷尚子、大久保宗  
下段左より 蛭子屋歩美、赤木恵三子、佐藤かわり

## 知多地区



ひまわり邸

左より 増田あゆみ、酒出恵美、ビー、鶴橋香乃、矢口麻弥



ひまわりの街

上段左より 杉浦希紗良、甲斐愛実  
下段左より 山口さくら、小嶋真奈美



# 新入職員歓迎式典及び新入職員研修会



辞令交付

研修内容は、法人理念・創始の理念、職場人としてのモラル、サービスにおける制度や知識、チームワーク、介護技術演習など、朝から夕方まで多岐にわたりに行われました。

4月1日、福寿園法人本部ひまわりホールにて、新入職員歓迎式典が挙行されました。今年度は法人全体で50名の職員が辞令交付を受け、先輩職員代表からの歓迎の言葉を受け、各地区の新入職員の代表からも心強い誓いの言葉が述べられました。式典後の午後から昨年度途中で採用された中途採用者も合流し、4日までの間、計58名参加のもと、新入職員研修会が行われました。その日の夕方から豊橋市のホテルシーパレスリゾートに会場を移し、5年ぶりとなる宿泊研修を行うことができました。



講義風景



介護技術演習

研修最後には、各地区の代表者から熱意と期待を感じる決意表明が述べられました。また、一緒に参加した他施設の職員とも「今度は9月の第二次研修で会おうね」と別れを惜しむ場面もありました。これから「一人の生きる」を支える福寿園職員として、新入職員が大きく羽ばたいていくことを心から願っています。



グループワーク

すべての講義・演習は法人の幹部職員を講師に行われました。研修初日は緊張気味だった新入職員も研修や宿泊を通じてお互いに打ち解け合い、3日目の夜には歓迎懇親会も開催され、研修が終わるころには参加者の表情もとても明るく、和気藹々とした雰囲気になりました。

敬愛感謝と専任

社会福祉法人福寿園

## 令和6年度 新入職員歓迎式典





特集

# 笑顔の花咲くお花見

桜の花が美しい季節となり、各施設でもそれぞれお花見を楽しみました。きれいな桜の木を見上げれば、自然と笑顔がこぼれます。

心地よい春の風を感じながら桜を見ると、幸せな気持ちになりますね。美味しいお花見弁当もいただきながら、穏やかな春の一日を過ごされました。





連載 66

## 記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。

私は山口県岩国市出身で、父親が

国鉄（現在のJR）の運転士をしていた関係で転勤が多く、子どもの頃は何度も転校を経験したものでした。小学生時代からずっと将棋が好きで、今でも日曜にNHKで放送している将棋フォーカスや将棋トーナメントを、将棋の駒を打ちながら楽しみに見ています。その他には読書が好きで、とくに時代物は好んで読み、文藝春秋は毎月購入し寝る前に読むことが日課となっています。大学には進学しましたが、学生運動が激化したため、途中で辞めてしまいました。

その後、父親の繋がりで帝人に入社し、主に繊維の研究をしていましたが、30歳を過ぎた頃、父親に内緒で退社しました。後になってかなり叱られたことを、今でもはっきりと覚えていています。しば



若かりし頃(左が本人)



トヨタ自動車の仕事仲間と矢作川にて(右から4人目)



友人の結婚式へ

うになり、ふとそんなことを考えた方もいます。ですが、「考えても仕方がない。今を楽しく生きよう」と、それから時代劇を観たり将棋や釣り、また運動のために

蔵王山へ登ったりと、20年ほど自分の好きなことをして暮らして来ました。そんな日々が続いた令和2年11月、近くのコンビニまで出掛け転倒してしまいました。令和3年2月には、車で外出したところ自宅に戻れなくなってしまう、自分が老いていくという不安を感じ始めました。しばらくは急な自分の変化に、とまどいと悔しさを隠せませんでした。成長した我が子たちのおかげで、人生はまだまだこれからだと前向きな気持ちを持てるようになりました。息子は私と同じトヨタ自動車に勤務し、今では会えば仕事に関して共通の話ができるようになり、楽しみが増えました。娘も何かと世話をしてくれて、ふとした言動や仕草に「妻に似てきたなあ」と思うことがあり、頭の上がらないときもあります。子供達も立派に育ち自分の役目も終えた満足感に満たされつつ、今後は孫の成長を楽しみにしながら「悔いのない人生だった」と自信を持って言えるよう今の生活を楽しんでいます。

らくしてトヨタ自動車の田原工場設立を機に、田原へ腰を据える覚悟で入社し、設備の自動化を進める仕事に関わらせていただきました。仕事仲間と飲みに行き、情報収集をしたり、また家族ぐるみの付き合いのある家族と保養所に泊まりに行ったりと、充実した日々でした。35歳で結婚し、一男一女を授かりました。働いている頃は仕事ばかりで、自分がどんな夫であり父親だったのか考えたこともなかったのですが、60歳で定年退職し、妻も他界した平成28年から娘と二人で暮らすよ



村中 克己さん  
(グループホーム 田原ゆの里)

### プロフィール

生年月日：昭和11年5月21日  
趣味：将棋、読書  
嫌いな食べ物：ウインナー



# 各施設 TOPICS トピックス

## 児童発達支援事業きだっこ はじめましての会

4月5日に新しく3名の子どもたちをお迎えし、2年目がスタートしました。保護者も参加し、子どもたちの新たなスタートを一緒に見守りました。昨年から来ている子どもたちは、新しいおともだちに良いところを見せようと、いつもよ



り張り切ってお片づけをしたり、いすを並べたりしてくれて少し自慢気な顔つき。1年間通っている子も、

利用して5カ月の子も、利用当時と比べて圧倒的にできることが増え、表情が明るくなり、職員の人たちを驚かせてくれます。きつと今日からおともだちになった子どもたちも、たくさんの成長やたくさんの笑顔を見せてくれると思います。

## グループホーム田原ゆの里

### バイオリン演奏

3月27日に、ご利用者の姪御さんによるバイオリン演奏が行われました。春にちなんだ曲「春が来た」「春の小



川」「春の歌」や、昔懐かしい「リンゴの唄」「川の流れるように」他、

数曲演奏してくださいました。利用者みなさんも一緒に口ずさみながら、きれいな音色に耳を傾けていました。演奏終了後には写真撮影も行われ、みなさんとても良い笑顔で「また、素敵な演奏を聴かせてくださいね」とお話をされていました。

## ひまわりの街

### 春の衣類販売会

初めての試みとなる、出張！春の衣類販売会を家族会総会の後に開催しました。長年、地域に愛され親しまれている近藤商店さんにご協力いただき、会場いっぱいにくさんの洋服が並びました。

ご家族からは「本人と一緒に選ぶのはありがたいです」入居者のかたも「お買い物は久しぶりだからうれしいわ」「いい服が見つかったよ」と購入された洋服を見ながら大変喜ばれていました。笑顔あふれる家族

## 武豊福寿園 地元の祭りに参加

桜が満開に咲き誇る4月7日、市原地区の祭礼に福寿園職員も参加しました。知多地区の各施設から参加希望者が集い、午前23名、午後18名が参加しました。山車の曳き廻しを通じて、職員間や地域住民との交流、桜の木の下で花見会食、山車蔵や縣神社を山車と若衆が活気良く出入りする光景など、春祭りをとても満喫できました。人生で初めて山車を曳く職員や、今年度入職した外国人スタッフは目を輝かせながら日本の文化をエンジョイしていました！



団欒のあたたかな時間を過ごされました。





## みなみ福寿園

### 春のお彼岸

「今日は読経クラブです」と声を掛けるとたくさんの方の利用者が仏壇の前に集まります。毎月小林良正先生がみえ、読経してくださり、紙芝居の読み聞かせがあります。今月は春のお彼岸法要を行いました。それぞれに手を合わせ、み



なさんの笑顔と一緒に過ごした毎日を思い浮かべます。最後に良正先生がみんなの肩をこすりパワーを注入

今まで考えていたことがどこかにとんで行くようで、すっきり前向きな気持ちになります。また良正先生手作りのかわいいお顔のにぎり地蔵を「辛い時、痛い時、悲しい時、そっと心を安らげることができるよう」と、たくさんいただきました。そっと手に握り毎日笑顔で過ごします。

## ケアハウスパシフィック

### 祝☆403歳

3月に誕生日を迎えた方3名と10月に迎えた方1名の誕生日会を合同で行いました。

なんと！100歳2名、101歳1名、102歳1名で合わせて403歳のお祝いです。他の入居者も職員も会場に大勢集まり、4名を紹介しました。手作り



ケーキをプレゼントし、皆で誕生日の歌でお祝いしました。「これからも楽しく元気に生活していきたい」との言葉を聞き、周りの方から大きな拍手と歓声がありました。来年はまた皆で407歳をお祝いしたいと思えます。

## 昭和の里

### 赤ちゃんも大歓迎

れすとらん「夕やけ」では、令和5年5月から、モーニングのパンを食べ放題にし、未就学児はなんと無



料！口コシ等が広がり、下駄箱に靴が入りきらないほどの大盛況に。週末には1時間待ちになるほど賑わっています。ベビーカーで直接レストランへ行けるため、平日ではママさん方が来店してくださるようになりました。おむつ交換の場所がなく、相談室や休憩室をご案内していましたが、思い切って、多目的トイレにベビシートを設置。小さな子どもがいると、なかなかゆつくりと過ごせないママにも、美味しいパンをいっぱい食べて、束の間でも至福の時間を過ごしてほしいと思います。

## ケアハウスきぬうら

### セルフ喫茶開催中!

毎週土曜日と日曜日に、セルフ喫茶を行っています。入居者の方にマイカップを持参していただき、淹れたてのコーヒーを自由に味わっていただくものになっています。以前から入居されていた方はもちろんのこと、最近入居された方も利用しており、入居者同士の良い交流の場となっています。若い頃の話や武勇伝、最近あったことなど、コーヒー片手に話は盛り上がり、喫茶コーナーからは毎週賑やかな笑い声が聞こえてきます。今後またたくさんの方のご利用お待ちしております！





デイサービス砂川

1年の感謝を込めて

毎年、年度末に実施している感謝祭を今年も3月21日に行いました。感謝祭は1年間の感謝を込めて、ご利用者に楽しんでいただくことを目的に、昼食にすぎ焼き、午後からは職員による体を張った余興を楽しんでいただきました。すぎ焼きは各テーブルでご利用者と一緒に職員も鍋を囲み、普段とは違う雰囲気の中で美味しく食べることができました。午後からの職員による余興では、「叩いて被ってジャンケンポン」「二人羽織」「箱の中身は何でしょう」を

行いましたが、終始笑いの絶えない賑やかな会となりました。



東海福寿園

コロン、ありがとう

3月1日、アニマルセラピー犬としてみんなに愛されていた愛犬・コロンが永眠しました。東海福寿園が



開所して間もなく施設にきてくれて、今までたくさんのご利用者、職員、ご家族に可愛がられてきました。アニマルセラピー犬のはずでしたが、怖がりな性格で、初めて来る方には頑張つて吠えたり、番犬のような存在でもありました。突然の別れに涙が止まらないうち利用者もいましたが、施設の玄関前でお別れの会を行い、職員やご利用者がひとりずつ声をかけたりしてみんなでお見送りすることができました。コロン、たくさんの思い出と癒しをありがとう。ゆっくり休んでね。

渥美福寿園

たこ焼きくるくる

「お好み焼きやもんじゃ焼きは作ったことがある」「たこ焼きをまわりたい！」と入居者より要望があり、数名でパーティを開催しました。生地を流しこみ、タコやキムチ、チーズ等、一人ひとりのオリジナルたこ焼きを作りました。真剣な眼差しで生地をまわすタイミングを探り、はじめは失敗していましたが徐々に職人のような手さばきで、たこ焼きをまわっていました。できたてのアツ

アツを頼張り「上出来だ！」と笑顔が広がる楽しいたこ焼きパーティになりました。



養護盲福寿園

さあ身体を動かそう♪



春の訪れとともに施設内の改修工事も終了し、廊下や食堂がパツと明るい雰囲気になりました。配置換えをして広いスペースができた食堂にエアロバイクや平行棒を設置し、入所者のみなさんがいつでも気軽に利用できるようになりました。「足を動かすことでむくみが取れた」という声や、「視覚障がいがあり一人で散歩に行くのは怖いので施設内で身体を動かすことができ嬉しい」といった養護盲ならではの声も聞かれました。散歩や外出を楽しむことを目標にエアロバイクを利用し始めた方もおり、みんなで楽しく体力づくりをしています。これから外出企画を計画するのが楽しみです。



豊田福寿園

待ちに待ったいちご狩り

予定していたいちご狩りが雨のため延期となっていました。やっとこの度、豊田市猿投地区にある

『うめこう桃梨莓園』へ行ってまいりました！期待に胸をふくらませて農園に到着。さっそく畝の間を進み、いちご狩り開始です。45分食べ放題ということので、お



腹いっぱいもぎたての新鮮ないちごを食べられる贅沢な時間でした。みなさん満足そうな笑顔であふれていました。

田原福寿園デイサービス  
春に触れる



穏やかな春の日差しが降り注ぐ4月11日、サンテパルクたはらへ春を探しに出掛けました。

当日はチューリップフェア開催中で、色鮮やかな満開の花々に囲まれて記念撮影。「とっても綺麗だねえ」「すごく素敵だね」と利用者の皆さんの笑顔も咲き誇っていました。

春夏秋冬の季節の移ろいが美しい渥美半島、利用者の皆さんと四季を感じられるように企画を立てていきたいです。

花の里デイサービス

手作りばたもち！

多数のリクエストがあり、3月25日にばたもちを作りました。材料と道具を渡すと利用者さんが集まって一から全部で作ってくださりました。ポウルいっぱいのお米を潰し、丸め、あんこやきな粉を付けていただきました。皆さん昔から作っていたのもあり、お米の硬さやばたもちの大きさそれぞれこだわりがあるようです。出来立ての味は格別で、利用者の方からも好評でした。また利用者喜んでいただけるような企画を定期的に行っていきたいと思っています。



ちた福寿園

思い出の味

智子さんの誕生日は4月2日。智子さんに何がしたいか、何が欲しいかを聞く



と「たこ焼きを食べたい」「たこ焼きをみんなに買ってあげたい」と言われました。

智子さんの夢を叶えるために、常滑へたこ焼きを買いに行きました。

「昔は自分の家の近くなたこ焼き屋があったのに今はなくなったからね。ずっと食べたかった」

「母を思い出す懐かしい味だね」とたこ焼きを口にし、涙する場面もありました。

「美味しいね」と嬉しそうに満面の笑みで召し上げられていました。お土産もしっかり買って大満足！

ひまわり邸ショートステイ  
フルーツで春を待つ

職員によるフルーツの贅沢な音色にのって、聴き入る方やリズムを取る方、笑顔になる方など、音楽セラピー要素もあり、様々な形で楽しむことができました。この本日に癒されました。この素敵な音色は、福寿園の「stage」でもアップされていますのでぜひ動画でもお楽しみください。





## 調理員基礎研修

4月12日に田原福祉グローバル専門学校において、新人の栄養士・調理員12名を対象に調理員基礎研修を行いました。法人の『食のこだわり七カ条』等の食の理念や衛生管理についての講義のほか、調理実習を行いました。味噌汁はかつお出汁とにぼし出汁の二種類を作って味の違いを実感するとともに、新玉葱の甘酢、切干大根煮、ほうれん草の胡麻和えを作りながら、調味料の順番や煮含める時間で甘味や旨味の違いが出ることを学びました。昼食は田原ゆの里のお花見弁当、午後の休憩は学食Café2910でコーヒータイムをとり、同期の仲間と親交を深めることができました。一日を通じての振り返りでは、自らの目標のほか、質問も多く出ました。『2日目研修』で大きく成長した彼女らに会うことが今から楽しみです。



## マナー研修会

4月16日に本部ひまわりホールにおいてマナー研修会が開催されました。新卒の事務員や生活相談員等、今年度より新たに窓口業務を担当する職員を中心に、13名が参加しました。研修は印象コンサルタントの原山ナオ様、アシスタントの小嶋 香様のご指導によりマナーの基本や立ち振る舞い、電話対応、お茶出し、受付等の基本的なビジネスマナーを幅広く学ぶことができました。これから福寿園の各施設にお越しいただくすべての方に対し、笑顔であたたかくご利用者や来園者をお迎えできればと思います。



## 特定技能生歓迎会



田原福祉グローバル専門学校の日本語学科を卒業した留学生のうち、インドネシア人6名とフィリピン人1名が特定技能の在留資格をもって介護士として就労を開始しました。来日してから1年6か月、その間日本語学科では日本語の勉強はもちろん、介護の基礎も学び、介護士として働く日を夢見て毎日頑張ってきました。法人歓迎会では、クイズ形式でそれぞれの国の料理が紹介され、会場は盛り上がりました。「次の目標は介護福祉士国家試験に合格し、介護福祉士として働くことです!」と決意表明もあり、新たなスタートをきった7名のこれからがますます楽しみです。

## 施設見学ツアー開催中!



今年も令和7年3月に卒業する学生たちの就職活動が始まっており、年々その活動は早まっています。福寿園でも、毎月第2土曜日に施設見学ツアーを行い、福寿園の魅力を伝えています。見学ツアーの醍醐味は、それぞれの施設の違いを比較できることと、複数の在宅事業を知ることができること。学生からの反応は、「自分の働いているところのイメージができた」や「新たな福祉分野を知ることができてそちらに興味湧いた」などの声が上がっています。たくさんの学生が『福寿園で働きたい!』と思えるように、より多くの魅力を伝えられるようにしていきます。



## 児童の成長 たっぶく児童クラブ

4月のある晴れた日、椿公園へ出かけました。春休みに入り雨が続けていたので、「公園に行くよ!」の一言に子どもたちは大喜び。遊んでいたおもちゃを急いで片付け。楽しいことが待っていると、片付けも早いです。

公園に着くと、高学年は1年生を気にかけてくれて、とても頼りになります。子どもたちの成長している姿を見ると、私たち支援員も元気をもらえます。鬼ごっこをしたり、公園の中を散策し、クローバーやたんぽぽを見つけたりと、自然と天気と癒されながら過ごしていました。

今後も天気の良い日には、自然の中で五感を感じさせながら、楽しく過ごしていきたいと思えます。



## わくわく! おかし作り

放課後等デイサービス ふくっこ

子どもたちはおかし作りが大好きです。この日、みんなで大好きなガトーショコラを作りました。事前に動画で作り方を確認し、スタッフの「砂糖は何グラムだった?」などの問いかけに「70グラム!」とスタッフよりも正確に作り方を覚え、元気に答えてくれました。

また、材料を混ぜるのに「1人10回ずつね」と声をかけると周りの子どもたちも「1、2、3、4…」と一緒に数えながらおやつ作りを楽しみました。

部屋中にガトーショコラのいい匂いが漂ってきたら、いよいよおやつタイムです。自分たちで作ったおやつはとびきり美味しく、みんな大喜びでした。



## 令和6年度 成章コラボ新スイーツ決定!



3月19日、たっぶく学食カフェ「Café2910」にて成章コラボスイーツ授賞イベントを開催しました。毎年行っている成章高校とのコラボ企画の令和6年度新スイーツが発表されました。考案してくれた生徒さんそれぞれの思いのこもった素晴らしいアイデアの4作品が季節ごとに期間限定で販売されます。

「菜の花みたいなパンナコッタ」森田陽乃さん、「桃たっぷりショートケーキ」白井楓花さん、「アップルレアチーズケーキ」渡辺陽向さん、「みかんのSOYレアチーズ風タルト」岡崎桃苺さんの順で登場します。森田さんは昨年に引き続きの受賞となりました。ぜひCafé2910に新スイーツを食べにきてください。

また今年も成章生がカフェのエプロンを制作してくれました。大事に使わせていただきます。





# 家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

各施設で総会が開催され、令和5年度事業報告・決算報告及び令和6年度の事業計画・予算が審議、承認されました。

今年度新役員体制は次の通りです。(総会が終了し、役員の変更があった施設のみ掲載しています)



会長  
副会長  
幹事  
監査

## 花の里

小久保昌彦様  
大島 邦男様  
岡本さと美様  
鈴木 和子様  
渡會智恵美様  
山本 和子様

会長  
副会長  
幹事  
会計監査

## 田原ゆの里

鈴木 幾雄様  
伊藤 幸次様  
古川 雅章様  
権藤 里美様  
杉山 礼子様  
山田 和代様  
田島美千代様

会長  
副会長  
幹事  
会計監査

## 田原福寿園

大場 可様  
磯田 豊様  
千田 哲雄様  
大場久美子様  
浅野 千恵様  
鶴飼 敏恭様

会長  
世話人  
監事

## ひまわり邸

横井祐一郎様  
阿部 友治様  
水野 園子様  
伊藤 伸一様

会長  
副会長  
監事

## ひまわりの街

田中 雅裕様  
黒川 敏和様  
中村 美穂様  
安藤 里香様  
小木曾 熙様

会長  
副会長  
監事

## みなみ福寿園

小野 英樹様  
伊豫田 悟様  
佐藤 知己様  
中野 文江様  
石川 俊秋様

会長  
監事  
世話人

## 東海福寿園

寺田 稔様  
久保田 泰子様  
片桐 新一様  
高木 博美様  
山本 光和様

世話人代表  
監事  
世話人

## くすのきの里

清水 恒義様  
榊原 勝己様  
脇淵 恵子様  
伊賀佐英子様  
森下 俊久様

会長  
副会長兼会計  
副会長  
監事  
ボランティア部

## 武豊福寿園

石川 彰様  
田中 敏春様  
山本 益美様  
鳥居 智宏様  
杉浦ひとみ様  
濱田 智美様

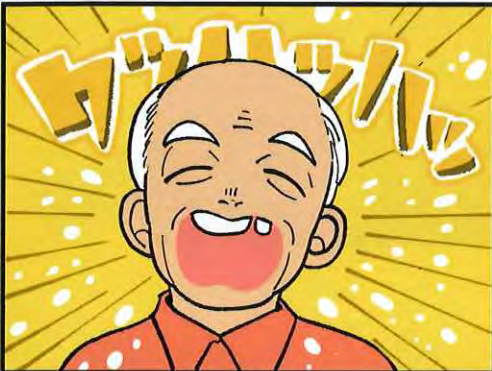


## 福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.11

# 「新人介護士」 つりちゃん



## 連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在108名(フィリピン人67名、ベトナム人32名、インドネシア人9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A 大学のお祝いに広島に住んでいる姉が日本旅行をプレゼントしてくれた。日本の文化、日本人のマナーの良さ、思いやり、温かさに感動し日本語、文化を日本で学びプロとして働きたかった。
- Q 日本に来て一番おどろいたことは何ですか?
- A 初めて銭湯に行ったとき、裸にフェイスタオル1枚しか持って入れなかった。タオルを腰に巻いたままお風呂に入ったらおばあさんに叱られてしまった。
- Q 休日は何をしていますか?
- A Youtubeで世界歴史を観たり、音楽を聴いたり、旦那と一緒に勉強をしている。
- Q フィリピンへ旅行に行くならどこがお勧めですか?
- A ダバオにある【パール・ファーム】と言う有名なビーチがおすすめです。
- Q 得意な料理を教えてください。
- A 【アドボ】と【ピホン】というフィリピン料理です。
- Q 将来の夢はなんですか?
- A 永住権を取得して自分の日本語トレーニングセンターを開設したい。
- Q 最後に一言
- A 自分の勉強の進み具合を確認してやる気を保つ!



フオス ジェネット  
ナングカス  
ニックネーム  
ジェネット  
武豊福寿園  
国籍:フィリピン



## 連載 施設長・管理者の リーダーコラム

ケアハウス  
パシフィック

施設長 原野健太郎

この春は娘が高校受験ということで、一緒にどきどきする心地が続きました。結果は第一志望校に合格!喜びや安堵はもちろんのこと、私も通った地元の高校への進学ということで感慨深いものがありました。これからがまた楽しくあってほしいことが一番の願いですが、重ねて色々なことを経験して成長していく姿も静かに見守りたいと思います。

さて、そんな娘へのご褒美で、「おいしいマグロが食べたい!」との意向を聞いて、静岡市まで一走り。鮮度抜群の井ぶりを頼りました。普段口にするものとは全く別物と実感、感動しました!帰りがけは山間奥地へと進み、夢のつり橋へ。一緒にビビりながら歩を進めて渡り切りましたが、自宅に帰ってからは共にヒノキ花粉に侵され、鼻水や咳に泣かされました。

次号は、ひまわり邸の小栗管理者へバトンを渡します。



令和6年5月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園  
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008  
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.175 16